

浸水用消毒薬について

巻頭
I-3

名古屋市では浸水被害時の衛生対策として、希望者に消毒薬を配布しています。なお、床下や庭の消毒は原則不要です。汚泥を取り除き、しっかり乾燥させましょう。

【消毒薬の種類】 逆性石けん液*500mL
※10%塩化ベンザルコニウム液

水が引いたら…

消毒前の水
洗いが大切です。

手順1 不要なものや汚泥などを片付ける。

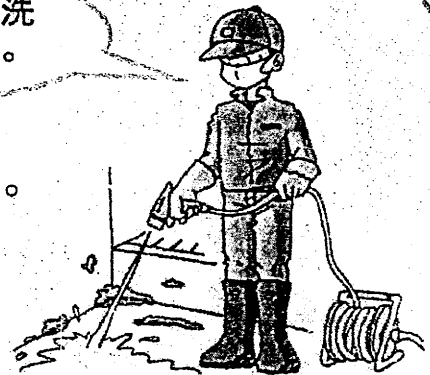


手順2 浸水した場所を水で洗い流す。



手順3 必要に応じて*消毒薬を使用する(裏面参照)。

※『必要に応じて』とは、河川の水や汚水に浸かったときなどを指します。



《消毒薬を使用される前に》

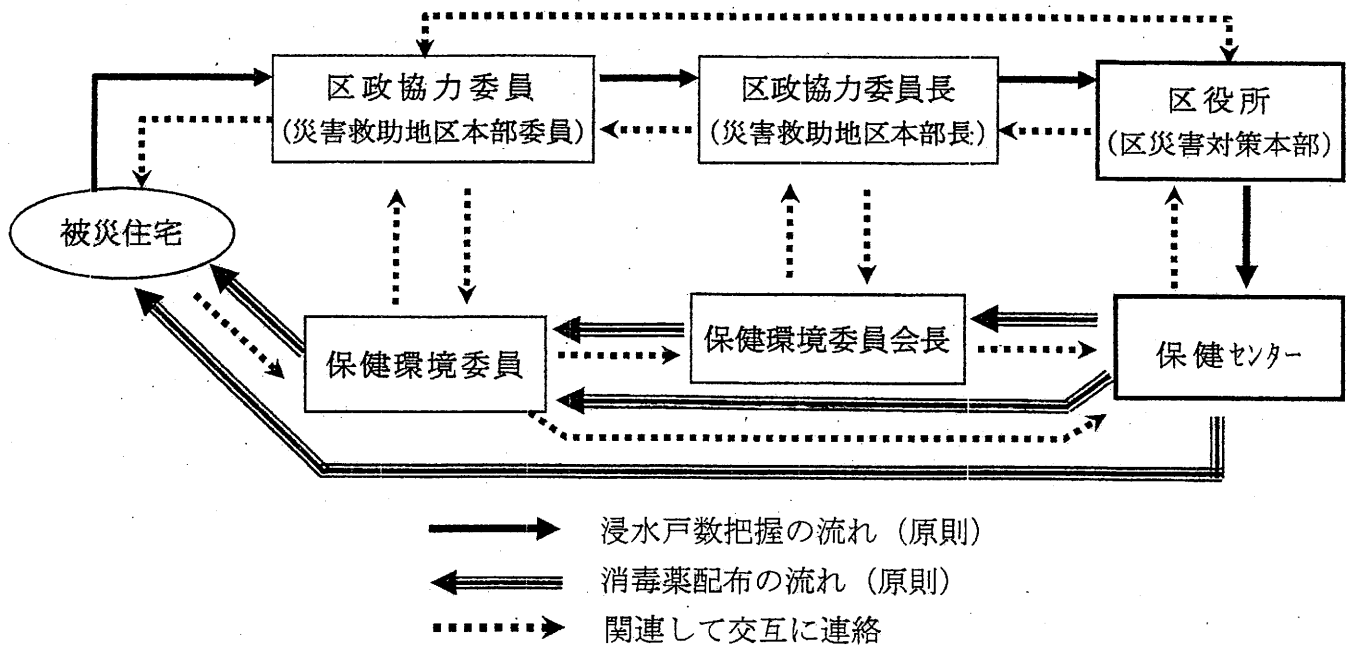
消毒薬に記載されている使用上の注意に従ってください。

【お問い合わせ先 中川保健センター TEL:363-4452】

浸水時の消毒薬配布に関するご協力についてのお願い

浸水の被害発生時には、区政協力委員の皆様が災害対策委員として床上・床下浸水の被災住宅の戸数把握にご尽力いただいております。保健センターでは、消毒薬を希望する被災住宅に対して配布をしております。この消毒薬の配布を迅速・適切に行うためには、皆様方が把握された情報が不可欠です。このことに関して下図のような情報の流れを想定しておりますので、関係の皆様方との連携にもご配慮いただきますようお願い申し上げます。

図：被災住宅に対する消毒薬配布の流れ



<消毒薬の配布基準>

被災区分	配布対象	消毒薬の種類
床上浸水	消毒薬を希望する被災住宅	逆性石けん液 (500ml)
床下浸水	—	床下や庭の消毒は不要(しっかり乾燥させる)

・浸水被害後の対応方法

水が引いた後、浸水した場所は清掃をしてから光に当てたり、風通しを良くし、しっかり乾燥させることが大切です。消毒薬は必要に応じて清掃後に使います。